

9月は、各集落の夏祭り！

9月は五穀豊穰を祈願した秋祭りが各集落で開催されます。この機会に故郷へお越しいただき、古くから伝わる伝統的な舞を堪能されてはいかがでしょうか。



夏祭り参加&わせだいらのイベントを応援

8月8日、村制60周年木島平村夏祭りに役員で参加しました。夏祭りでは、恒例の盆踊りや鬼島太鼓の演奏や、村制60周年の記念花火が打ちあがり、村内外から例年より多い約千二百人の方が、会場であるケヤキの森公園中央グラウンドに集まりました。

また、翌日の9日には、早稲田大学の学生サークル「わせだいら」のイベントに参加しました。

わせだいらは、「たくさん遊んでちよこつと学ぼう」をテーマに、5月にオープンした「FARMUS木島平」でトマトを調理する「トマト七変化」を企画しました。これは、子ども達に「FARMUS木島平」の魅力や、地元食材のおいしさを味わっていただく企画で、子ども達10数名とわせだいら13名が参加し、盛大にイベントを行うことが出来ました。

わせだいらとふるさと応援団木島平会は、お互いに協力しながら、木島平村を応援するということで、連携を深めています。

各集落のお祭り（夜宮）	
日程	集落
9／5（土）	西町、柳久保
9／12（土）	南嶋、西小路、中島、山口、市之割
9／19（土）	稲荷、内山、庚、中町、西町、糠千
9／20（日）	和栗、小見
9／22（火）	中村、北嶋、高石
8/11 現在未定	柳久保、平沢

※概ね午後8～11時に行われます。
 ※詳細についてはご親戚等にお尋ねください。
 ※記載がない集落は夜宮を行わない予定の集落です。



60年目のふるさと

昭和30年2月1日 上木島村、往郷村、穂高村が合併し、木島平村が誕生しました。当時の人口は約8200人、昭和30年と言えば、1円硬貨が発行され、トランジスタラジオやトヨタのクラウンが発売開始になるなど、高度成長へのスタートラインに立ったところです。3種の神器と言われたテレビ、冷蔵庫、洗濯機が都市部では徐々に普及し始めたようです。木島平では昭和30年代が終わるころでしたが。

今年が村制施行60周年です。この間、暮らしは大きく変わりました。私が小さい頃はまだ田起こしを牛や馬で行っていました。田植えには近所みんなが集まり、それぞれの家の田を順番に植えていきました。春と秋には田植え休みと稲刈り休みがあり、子どもは貴重な働き手でした。今は大きなトラクターや田植え機、コンバインが活躍しています。未舗装だった道路もほとんど舗装され、冬には大きな除雪車が道を開けてくれます。車やパソコン、携帯電話はどこの家にも、というより誰もが当たり前のようになっています。新幹線に高速道路、都市には高層ビルが建ち並んでいます。60年前こんな時代が来ることを誰が想像したでしょうか。

木島平村長 日墓正博



昔の田植えの様子



馬による田起こし



脱穀の様子



今も昔も変わらない村の景色

しかし、ふるさと木島平はどうでしょう。周囲の山々の景観はほとんど昔と変わっていません。樽川、馬曲川にも昔の趣が残っています。そこへ行くと子供のころの思い出を辿ることが出来ます。やっぱりここは自分の故郷だなと感じます。生活がいくら変化しても変わらないところがある。ふるさとは、生まれ育った所という意味の他に、心の拠り所という意味もあります。そこには一緒に遊んだ幼友達がいて、一緒に遊んだ山や川がある。そして、いつでも優しく迎え入れてくれる。村を離れた皆さんにとっても木島平が、いつまでもそんな故郷であり続けられたいと思います。

この60年の間に首都圏との時間距離は格段に短くなりました。いつでもお越しく下さい。お待ちしております。

会報原稿募集中!

郵送・FAX・メールいずれかの方法でお願いします。「村の思い出」「身近な出来事」など、木島平村に関係することであれば何でもOKです。

【送付先】〒389の2392 木島平村役場内 ふるさと応援団事務局
fax 0269の82の4121 Kicho@kijimadaira.jp 木